

ゼップバウンド[®]皮下注アテオス[®] を使用する患者さんへ

ゼップバウンドは「肥満症」又は「中等症以上の閉塞性睡眠時無呼吸症候群 (BMIが27kg/m²以上に限る)」の治療薬です

- ▶▶ 「肥満症」又は「中等症以上の閉塞性睡眠時無呼吸症候群 (BMIが27kg/m²以上に限る)」治療以外の目的 (美容・痩身・ダイエット等) で使用しないでください。
- ▶▶ 主治医の指示に従って、正しく安全にご使用ください。
- ▶▶ 主治医の指示に従い、食事・運動などの生活習慣の改善を継続したうえで、本剤を使用してください。

ゼップバウンドと一緒に使用する事ができないお薬

ゼップバウンドはGIP/GLP-1受容体作動薬のチルゼパチドを含有しているため、マンジャロ等他のチルゼパチド含有製剤あるいはその他のGLP-1受容体作動薬とは併用できません。ゼップバウンドの使用の前に、以下のお薬を使用していないことを必ずご確認ください。

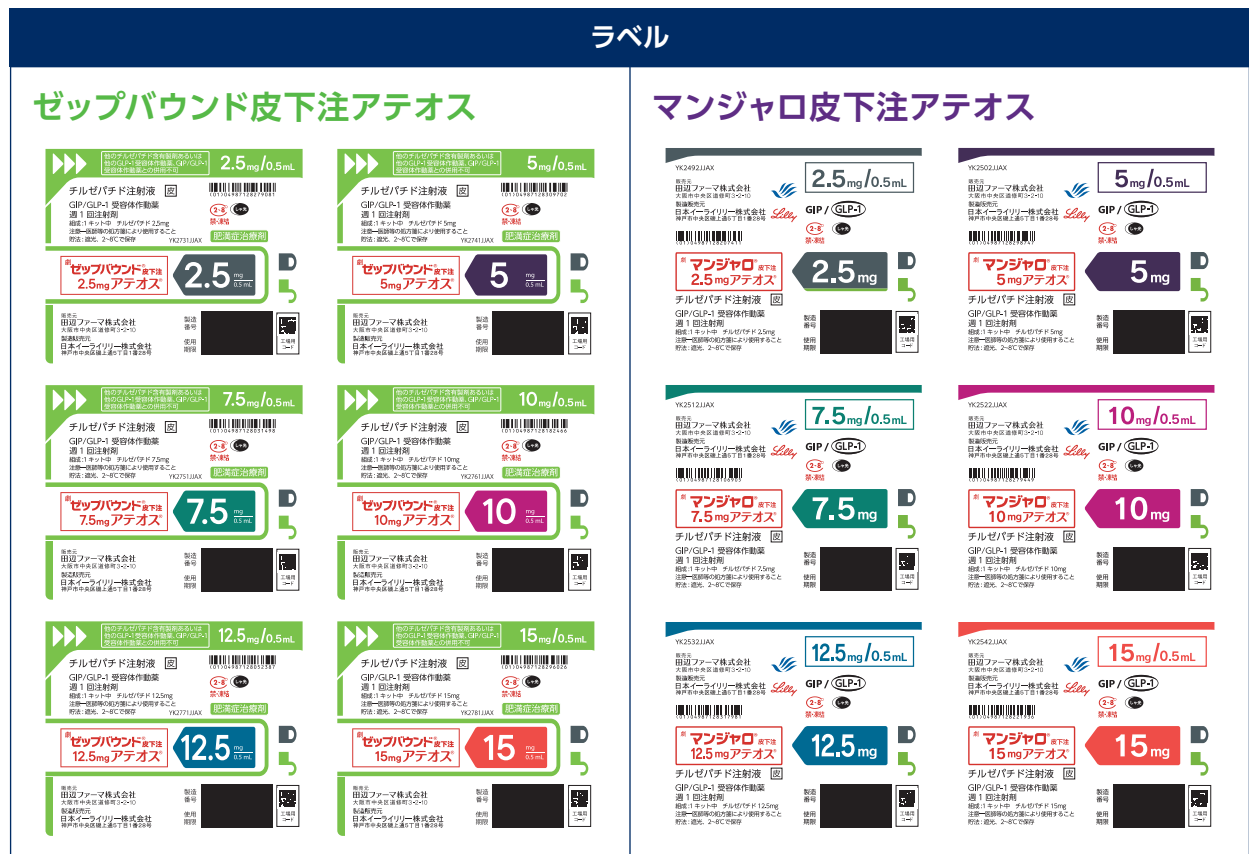
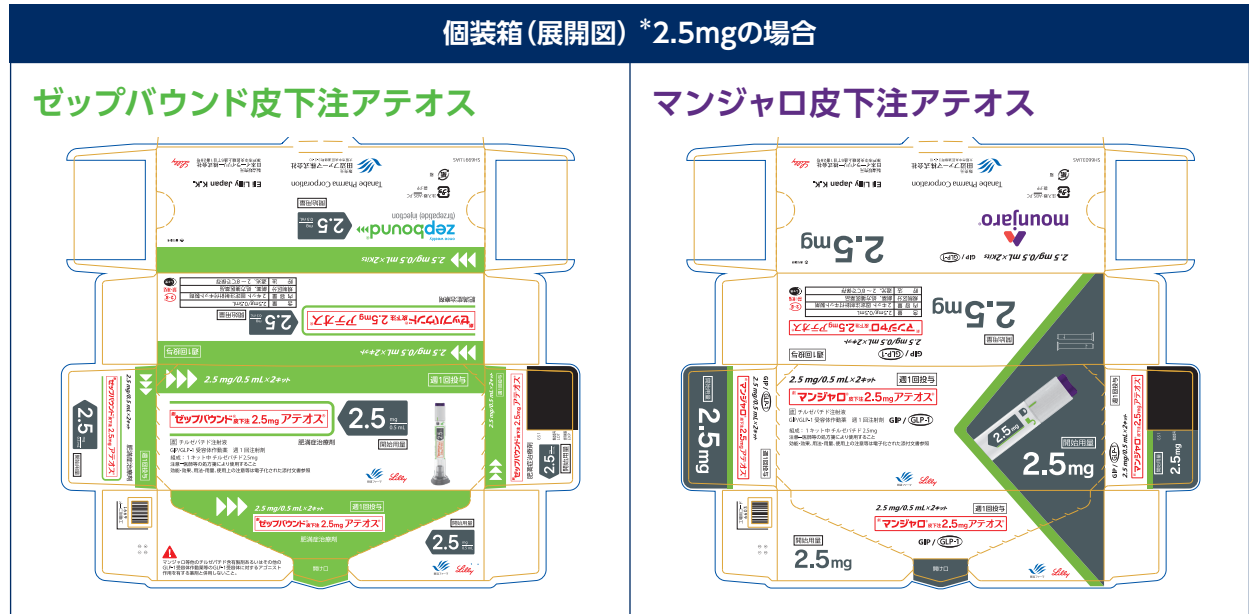
以下のお薬を使用している場合は、主治医やかかりつけ薬局の薬剤師にご相談ください。

ゼップバウンド以外のGIP/GLP-1受容体作動薬及びGLP-1受容体作動薬等

販売名	一般名
ウゴービ [®] 皮下注0.25mgペン 1.0MD/0.5mgペン 2.0MD/1.0mgペン 4.0MD/1.7mgペン 6.8MD/2.4mgペン 9.6MD	セマグルチド
マンジャロ [®] 皮下注2.5mg/5mg/7.5mg/10mg/12.5mg/15mgアテオス [®]	チルゼパチド
ウゴービ [®] 皮下注0.25mg SD/0.5mg SD/1.0mg SD/1.7mg SD/2.4mg SD	セマグルチド
リベルサス [®] 錠3mg/7mg/14mg	セマグルチド
オゼンピック [®] 皮下注2mg	セマグルチド
ソリアク [®] 配合注ソロスター [®]	インスリン グラルギン/リキシセナチド配合製剤
ゾルトファイ [®] 配合注フレックスタッチ [®]	インスリン デグルデク/リラグルチド
トルリシティ [®] 皮下注0.75mg/1.5mgアテオス [®]	デュラグルチド
ビクトーザ [®] 皮下注18mg	リラグルチド

使用するお薬の名前をご確認ください 〈マンジャロと間違えないようにご注意ください〉

ゼップバウンド皮下注アテオス(肥満症又は「中等症以上の閉塞性睡眠時無呼吸症候群(BMIが27kg/m²以上に限る)」の治療薬)と同じ有効成分のマンジャロ皮下注アテオス(2型糖尿病治療薬)の注入器は同じ形状となります。ゼップバウンドとマンジャロは、個装箱及びラベルの色が異なり、ゼップバウンドの個装箱及びラベルは薄い緑色です。個装箱及びラベルの色を確認し、ゼップバウンドである事を確認してください。



医師の指示に従い、 正しい用量を投与するようご注意ください

ゼップバウンドの投与方法

ゼップバウンド皮下注アテオスは、週に1回皮下投与します。毎週同じ曜日に投与してください。

〈肥満症〉

週1回2.5mgから投与開始し、その後は4週間の間隔で2.5mgずつ増量し、週1回10mgを投与します。10mgまで増量後、患者さんの状態にあわせて、主治医の判断で、週1回5mgまで減量するか、4週間以上の間隔で2.5mgずつ、週1回15mgまで増量できます。

〈中等症以上の閉塞性睡眠時無呼吸症候群〉

週1回2.5mgから開始し、その後は4週間の間隔で2.5mgずつ増量し、週1回15mgを投与します。ただし、忍容性が認められない場合は、主治医の判断で週1回10～15mgの範囲で投与量を調整することができます。



ご使用になる前に

ゼップバウンドには6つの用量（2.5mg、5mg、7.5mg、10mg、12.5mg、15mg）があります。

ラベルを見て主治医から説明されているお薬の名前と用量が正しいか確認してください。

2本以上組み合わせて使用しないでください。

● お薬の名前

劇 **ゼップバウンド®皮下注**
2.5mg アテオス®

2.5 $\frac{\text{mg}}{0.5 \text{ mL}}$

● 用量

2.5mg

5mg

7.5mg

10mg

12.5mg

15mg

ゼップバウンド使用中に注意が必要な症状

ゼップバウンドによる治療中に以下のような症状が起こる事があります。

次のような症状を感じたときは、次回の通院を待たずに、できるだけ早く主治医にご相談ください。

胃腸症状

- ゼップバウンドによる治療中に、吐き気、嘔吐、下痢などの胃腸症状があらわれることがあります。これらの症状はゼップバウンドを初めて使用するときや、投与量を増やしたときに特に起こりやすくなるため、注意が必要です。症状があらわれたときは主治医に相談してください。
- 特に下痢、嘔吐又は食欲不振で食事がとれないような状態が持続し、脱水状態*が懸念される場合は、十分な水分摂取を行い、速やかに主治医に相談してください。

●吐き気があるときは、以下の対応が役立つかもしれません^{1,2)}



1回あたりの食事量を減らし、3食を4食に分けましょう



揚げ物など脂肪の多い食品は避けましょう



満腹を感じたら、それ以上食べるのをやめましょう

●次のような症状がある場合は、脱水状態*が懸念されるので、速やかに主治医に相談してください

*脱水症状

- | | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> のどの渇き | <input type="checkbox"/> 立ちくらみ | <input type="checkbox"/> めまい |
| <input type="checkbox"/> 体に力が入らない | <input type="checkbox"/> 疲れやすい | <input type="checkbox"/> 手足がつる など |



その他、気になる症状を感じたときは、主治医または薬剤師にご相談ください。

1) A Study of Tirzepatide (LY3298176) in Participants With Obesity or Overweight (SURMOUNT-1). ClinicalTrials.gov identifier:NCT04184622. Updated August 1, 2024. Accessed December 27, 2024.

2) A Study of Tirzepatide (LY3298176) in Participants With Type 2 Diabetes Who Have Obesity or Are Overweight (SURMOUNT-2). ClinicalTrials.gov identifier:NCT04657003. Updated April 8, 2024. Accessed December 27, 2024.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

ご質問等は、主治医にご相談いただくか、下記までお問い合わせください。

田辺ファーマ株式会社

くすり相談センター(患者さん、ご家族の皆さま向け)

TEL 0120-331-195

受付時間:月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝祭日および当社休日を除く)

日本イーライリリー株式会社

日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口(一般の方・患者様向け)

TEL 0120-245-970^{※1}

TEL 078-242-3499^{※2}

〈当社製品に関するお問い合わせ〉受付時間:月曜日～金曜日 8:45～17:30^{※3}

〈当社注入器に関するお問い合わせ〉受付時間:月曜日～土曜日 8:45～22:00

※1 通話料は無料です。携帯電話からでもご利用いただけます。尚、IP電話からはフリーダイヤルをご利用できない場合があります。

※2 フリーダイヤルでの接続が出来ない場合、このお電話番号にお掛けください。尚、通話料はお客様負担となります。

※3 祝祭日および当社休日を除きます。